



校長室だより 15号

中 島 悟

【キャッチフレーズ】

未来に残そう 伝え築いた 振徳商業
目指せ 三種目 日本一 !

【今週の行事】 6月14日(月) 授業公開週間(～18日)、珠算・電卓課外週間
16日(水) 文化祭実行委員会
17日(木) 交通安全教室
19日(土) 県情報処理競技会(口蹄疫の関係で各校実施)
県簿記コンクール(口蹄疫の関係で各校実施)
20日(日) 全商珠算・電卓検定、秘書検定

【部活動紹介】 コンピュータ部、ブラスバンド部

- | | | | |
|---|---------|-----------|-------------|
| 1 | コンピュータ部 | 旧顧問 鈴木 勝利 | 20周年記念誌より抜粋 |
| 2 | コンピュータ部 | 投稿者不明 | 30周年記念誌より抜粋 |
| 3 | ブラスバンド部 | 旧顧問 星原 良治 | 20周年記念誌より抜粋 |
| 4 | ブラスバンド部 | 投稿者不明 | 30周年記念誌より抜粋 |

コンピュータ部(原文) 旧顧問 鈴木 勝利

コンピュータ部は昭和47年開校3年目に富家先生の指導のもとに発足しました。平成元年度より、国商業高等学校協会主催の第1回コンピュータ競技会が開催されることになっており、それ故、部も今までと違った傾向になっていくと思います。

各学校ともこの競技会に取り組まなければなりません、内容も高度であり、参加校がどの位あるのか本部校も心配しているのが現状です。昭和63年度は全商より届いた問題で各学校で実施しましたが、これに協力した学校は5校だったと聞いています。今後、競技会実施の上で、参加数の増加が重要な課題でしょう。

さて、本校のコンピュータ部は5年前までFACOM230-15を使って活動していましたが、昭和58年にはPC-9801Fが1台購入されて、翌年2台と少しずつながら、購入され、FACOM230-15と、パソコンの併用が続いてきました。それが昭和62年度には日本電気の汎用機ACOS-410が、FACOM-230にかわって配置され、今までの紙テープ中心よりディスクへと大きく変化しました。平成元年度には残りの端末装置(PC-9801VM2)もはいり、端末装置48台と汎用機(ACOS-410)が完全にそろい、県下の商業高校では、トップの設備内容になりました。それ故、部員も他の学校に負けぬ様毎日頑張っているこの頃です。部員は総数20名で商業科・営業科・情報処理科の生徒といろいろおり、言語もCOBOL、BASIC、それも1級から3級まで多種多様で指導も大変になってきています。その上、最近は通産省の2種資格を目指している生徒もいて、これに対しても真剣に取り組む時に来ていると思います。

コンピュータ部(原文)

コンピュータ部は、現在、3年生10名、2年生23名、1年生16名、総勢49名と、振徳一の大所帯の部活動です。部の目標としては、全商情報処理検定はもとより、国家資格の通産省Ⅱ種及びⅠ種や、システム・アドミニストレータ試験に、合格することです。また、毎年夏に行われるプログラミング競技会で、県大会で優勝し、全国大会に出場することを目標に頑張っています。現在三連覇中です。これからも、日々、精進していきたいと思っています。

ブラスバンド部 (原文)	旧顧問	星原 良治
ブラスバンド部は、1987年（昭和62年に）、10名のメンバーにより、同好会として発足。本校創立以来、初めて校舎内にブラス楽器の音が響き渡るようになった。 同好会設立に際しては、楽器購入資金をいかに調達するかが一番の悩みであった。どの楽器をとってもひとつの単価は、最低でも10万円を超えるのである。しかし、幸いなことに、その年の卒業生、保護者の方々のご好意により、卒業記念として、トランペット、サクソ、ホルン、トロンボーン、チューバ、大太鼓、小太鼓を寄贈していただくことになり、完全とはいかないまでも、活動の最低条件を満たすことができたのである。 その年、市内四高校野球定期戦での応援演奏を皮切りに、部員が少ないながらも、毎日基礎を中心に練習を重ねた。発足したばかりで、なかなか発表の場がない中で、10月の高文連日南大会では、日南、学園、福島、振徳のブラス部合同の市中パレード、ステージでの合同演奏という形で、初めて大きな舞台に参加することができた。他校の技術に習うとともに、音楽を愛する仲間とのふれあいを計れたということは、スタートしたばかりの振徳ブラスバンドには、大きな収穫となった。 1988年（昭和63年）春、1年間の同好会活動から、念願の部に昇格。年度の部の予算でドラムセットを購入、目指すはビッグバンド、現在のブラス部の体型が出来上がったのである。練習曲も、グレンミラーの曲を中心に、ラテンからマンガまで、幅広いジャンルを手掛けている。発表の場も前年より遥かに増え、校内行事（全校集会、体育大会、文化祭、卒業式）を始め、各町村の「夏祭り」の演奏にも積極的に参加してきた。ステージの回数が増えるにつれ、部活にもより一層磨きがかかり、生徒一人ひとりの顔も生き生きとしてきたことは、「音楽」のもつ魅力であろう。 「音楽」とは……その名の通り、音を楽しむということである。「音」はともすると、雑音とも聞こえる場合がある。しかし、楽器で奏でる「音」は決して雑音にはならない。なってはいけない。毎日校舎に響く一人ひとりの「音」に心地良さを感じないこともある。しかし、その一人ひとりの音が重なり合い、一つの世界を創るとき、演奏者と聴衆の心に潤いを与えてくれるのである。もちろん、日々の練習の成果があつてこそである。 1989年3月現在、部員19名。そのほとんどが初心者であるが、楽器を初めて手にした者も、努力しだいで、ソロも十分に吹きこなせるようになる。要は「やる気」なのだ。スポーツに比べ、文化活動は大変地味ではあるが、そこから学びとるものも多い。現メンバーに、今はそれぞれ楽器が与えられてはいるが、個人持ちや借用分を除くと、まだまだ厳しい。しかし、そのような状況を踏まえ、自分たちで夏の暑い中、アルバイトを行い楽器購入資金の足しにしようとする生徒の部活を愛する心に、深い感動を受けるのである。 振徳商業は今年で20周年を迎えた。一方、ブラスバンドは2年目、これからが始まりである。本校の校舎にいつも美しい音が絶えないようにするためにも、生徒とともに、振徳ブラスバンドの歴史の一ページを築きたい。		
ブラスバンド部 (原文)		
私たちブラスバンド部は、1年生が13名、2年生が2名、3年生が10名の計25名で活動しています。今年は1年生が13名も入部し、みんなやる気のある子ばかりで、部活も今まで以上に力が入っています。 これからも先輩方が築き上げてきた伝統を、今まで以上に頑張って引き継ぎたいと思います。		